

2022年8月18日

教員が、死亡事故を起こした場合の、処分、対応等についての見直し等を求める請願。

住所

氏名 行政を考える住民の会 事務局 宮崎邦彦

請願の趣旨 理由。

- 1 教員が死亡事故 運転中にゲーム 報道 (資料 1)  
ゲームをしながら運転していたとある。(被害者は) 搬送先の病院で死亡が確認された。とある。  
この事案は、死亡事故である。原因は、教員は、ゲームをしながらの運転である。免職になるだろうと思われた。
- 2 運転中死亡事故 高校教諭を停職 県教委 報道 (資料 2)  
信号がない交差点で、スマートフォンを片手に持ちながら車を運転し、自転車に乗っていた男性をはね死亡させたとして停職 4 か月となった。今月 8 日に依願退職した。とある。
- 3 公立学校職員の懲戒処分について (資料 3)  
記載してある、事件の経過は、報道内容と同じである。  
停職 4 か月、処分が重いのかどうかは、何とも言い難いことである。
- 4 公務外非行関係  
殺人 人を殺し教職員は、免職とする。と、懲戒処分の基準 (愛知県教育委員会) にある。  
交通事故 人を死亡させ、・・・免職、又は、停職とある。(同基準) 今回の事案が、停職処分 4 か月になったのか、理由、根拠などまったくわからない。  
そもそも、職員の今回の事故がどのようにして起きたのか、その背景、原因、理由等が不明である。
- 5 衝動制御ができない人は治療を (資料 4) に該当するしないではなく、報道記事 (資料 4) を基にすると次のようになる。注 記事の盗撮をゲームとして表現する。  
「再発防止に必要な専門治療を受けてもらうことを求めるものである。  
何が、ゲームへ駆り立てる「引き金」になったのかを、自分で理解し、そのような環境をつくらないためには、どのような回避行動をとればいいのか考える」



事前に「再犯防止計画」を作っておくことが大切だと斎藤さんは説く。とある。

- 6 事前に処分にあたり、教育委員会は、該当職員に、事情聴取を行っていることは明らかである。他の事案を参考にすると、公式的には、聞き取りを行い、メモは取っているということである。

本件事例のような、職員の停職、免職等は、重大事案である。

事情聴取の文書をまずは作成することが、再発防止の第1歩であるともいえるからである。いまだメモと称している理由は不明である。

聞き取りの記録は、処分の重要資料であることは間違いない。教育委員会は、今後の再発防止のために、聞き取りの記録を、公文書として、堂々と作成、公表することをもとめる。

#### 請願事項

- 1 懲戒処分の基準を、見直しをすること。(本件事案の停職4か月の理由、根拠等が明確になるようにすること)
- 2 停職等の重大事案については、再発防止のために、被処分職員に専門治療を受けさせること
- 3 当面は、事情聴取の専門スタッフを養成して(専門治療をめざす、専門治療ができる)、事情聴取の記録(文書)を作成すること。

添付資料 資料1 2022年6月2日 朝日新聞  
資料2 2022年8月10日 朝日新聞  
資料3 2022年8月9日付 愛知県教育委員会教職員課  
資料4 2022年8月2日 中日新聞

口頭意見陳述希望